



茜の空

令和7年度 第7号
発行日 11月7日(金)
練馬区立石神井南中学校
校長 木原 賢三

読書のすすめ

校長 木原 賢三

校庭の木々も紅葉し始め、秋色に染まり落ち着いた雰囲気醸しだしています。10月15日から第2学年、第3学年で行われた職場体験、修学旅行では、石南中生らしく挨拶する姿やきちんとルールやマナーを守り行動に取り組む立派な姿があり、大きな成長を感じることができた行事となりました。本校では、すべての教育活動を通して、自分をしっかりと見つめ、「自分探し」に取り組み、社会で自立することができる生徒になってほしいと願っています。

さて、読書の力によって平和な文化国家を創ろうと10月27日から11月9日まで、「読書週間」と定められています。今年のスローガンは「こころとあたまの、深呼吸」です。近年、子どもの活字離れがいわれ、国語力の低下だけでなく、社会生活を送るのに必要な相手の言いたいことや気持ちを理解する読解力の不足などが指摘されています。そのため、読書活動はこれらの能力を高めるだけでなく、豊かな心と確かな学力を育むための大切な取組として重要性を増しています。子どもたちは読書を通して、いろいろなことを頭の中で体験したり、新しい知識を身に付けたり、興味を広げたりしています。そこで身に付くのは、「勉強」という枠にとらわれない、生きていくための力です。子どものうちから読書することで、人生をより豊かに生きていくことができるようになります。さらに、読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

一方、最近の子どもたちは、物事を深く考えることが苦手だということが言われています。今の時代は、テレビゲームやスマートフォンなど、読書以外に子どもたちを魅了するものがたくさんあります。そのため、活字から離れ、テレビやネットなどから流される一方的な画像情報に慣れてしまい、考えることをしなくなっていることが1つの原因であるとも言われています。「考える」ということは言葉がなければできない行為です。物事を深く考えるためには、それを支えることのできる「豊富な言葉」が必要であり、読書は言葉を増やすための一番の方法です。「読書は心の栄養」といわれるように、読書は知識を蓄えるとともに、様々な人の考えや生き方を深く知ることで、私たちの心の成長を育んでくれます。本は時には今の自分を奮い立たせ、自分の生き方を考えさせてくれます。また、勇気をくれたり、自分の悩みにヒントを与えてくれたりすることもあります。そして、本を読むことで様々な人と対話する経験もできます。特に、中学生にとって本と出会うことで、大人との出会いを積み重ね、きちんとした考えを自分の中に取り込むことができ、人間的な心の豊かさにつながると思います。それだけ本との出会いは私たちの人生を左右するほどの力をもっています。

辻村深月さんは著書「あなたの言葉を」の中で、読書の大切さについて、「運動をすると身体が鍛えられるのと同様に、本を読むと心が鍛えられます。ただの文字にしか過ぎないはずの文章から、誰かの姿を想像したり、思いを感じ取ったりできるのはすごいことですし、漫画や小説のような物語を通じて自分とは全然違う人の人生を生きることができたり、遠い世界の誰かと友達になれたような気持ちにもなれる。本を通じて未知なる世界の誰かと親友のような時間を過ごしてもらえたら、それも読書の醍醐味だと思います。」と著しています。

ぜひ、子どもたちには、本との出会いを通して読書を楽しみ、人生を豊かにしてほしいと願っています。

生徒会役員選挙

10月10日(金)、後期生徒会役員を選出する生徒会役員選挙が行われました。体育館での立会演説会に続いて、各教室で投票が行われ、新しい生徒会長、本部役員が選出されました。これまでの生徒会の活動を引き継いで、活動を開始しています。



学校公開・道徳授業地区公開講座

10月11日(土)は、演劇部の演劇発表の鑑賞、生徒海外派遣報告会、そして道徳授業地区公開講座としての講演会がありました。

日頃の練習の成果を発揮した演劇部の演技は、見ている人の気持ちを引き付けるものがありました。また、生徒海外派遣の報告は、派遣先での活動等について英語を交えて発表し、とても興味を深める内容でした。

そして、講師としてお招きした「東京大空襲体験伝承者」の沢村智恵子先生による講演では、改めて平和の尊さについて考えることができました。翌週に修学旅行で広島を訪れる3年生が特に真剣な表情で耳を傾けている姿が印象的でした。



改修工事に伴う通用門の変更について

過日通知プリントを配付してお伝えしておりますが、長寿命化改修工事の一環の正門前埋設ガス配管更新工事に伴い、以下の通り正門の通行を一時的に制限いたします。登下校、ご来校の際には、現在工事で使用している東門を通用門としてご通行いただきますようお願いいたします。

1 正門の通行ができない期間

令和7年11月11日(火) から 令和7年11月24日(月)

2 上記期間の通用門および動線

下図参照

